

2022年度 事業報告書

【2022年4月1日から2023年3月31日まで】

特定非営利活動法人 教育のためのコミュニケーション

1. 事業計画書において示していた事業実施の方針

前年度に十分に実施・達成できなかった事業について見直し、改めて定款で定めた本法人の以下の事業を確実に実施する。それによって、教育とコミュニケーションをめぐる課題意識の共有の広がりや協力者の拡大を目指す。

2. 事業の成果・課題

- ・「教育広報講座」、「多様な教えと育ちの現場ツアー」などの対面のイベントを実施することができ、オンラインイベントが中心であった前年度までよりも濃密な活動を展開できた。イベントをきっかけに教育機関・関係者同士で新たな協働が生まれるなどの成果もあった。
- ・有料イベントも初めて実現することができ、今後の持続的な運営の足がかりをつくることができた。
- ・他の市民団体との協働イベントを複数回実施することができた。団体同士の連携は今後も強化していきたい。
- ・当初予定していた取組のいくつかは十分に実施することができなかった。特に、茨城県内での対面イベントが増える一方で、県外の会員が活動に参加できる機会を創出できていないため、活動の幅を増やしていきたい。

3. 特定非営利活動に係る事業の実施状況

①教育と広報・コミュニケーションに係る企画・教材開発事業

■多様な教えと育ちの場ツアー

普段交流の機会が作りづらい教育機関や、教育機関としては認識されていないものの貴重な教育の場として機能しているような現場を訪れ、情報交換をするツアーを企画・実施する。

【目標】・年度内に1回（2022年10月頃を想定）以上開催

【実施状況】

- ・12/10 茨城朝鮮初中高級学校ツアー 参加者10名（スタッフ2名含む）

【事業費】

〈収入〉 6,500円（ツアー参加費 会員500円、非会員1,000円）

〈支出〉 7,055円（食堂体験費（@500円×10人）、お礼（菓子折））

■公立学校の当事者・半当事者のコミュニケーション機会の創出

公教育の要となる公立学校の持続的なあり方について、教員など当事者とそれに関わろうとする「半当事者」と対話する機会を創出する。学校現場の切実な課題と、地域社会の人たちがもつさまざまな視点・経験・スキルの接点を見出しながら、可能であれば情報発信や政策提言に結びつける。他NPO法人との共同事業。

【目標】・2022年夏を目途に月1回程度の定期的な対話機会の創出を開始

【実施状況】

・11/8 「教師が来る火曜茶会」@マチノイズミ（水戸市泉町）

NPOセカンドリーグ茨城と共同開催 参加者13名

【事業費】0円（セカンドリーグ茨城の協力により会場費無料）

■教育と広報・コミュニケーションに係るトークイベントの実施

教育と広報・コミュニケーションに係るトークイベントを実施する。会員向けZoomラジオを定期的に実施し、そこでのフランクな対話から、一般向けイベントの企画へとつなげるという仕組みを確立する。

【目標】・Zoomラジオの定例化（2022年7月より奇数月に1回を想定）

・一般向けイベントを2回以上開催（2022年秋、冬）

【実施状況】

・Zoomラジオ 6/20、8/29、10/24実施 参加者は各回3~5名程度

・オンライントーク 県立図書館のデジタル施策について 6/9実施

・対面・オンライントーク 3/18「常陸大宮高校 高校生株式会社の7年間」

※ひたちおみや放送局 keydecke の協力で配信

【事業費】22,120円（Zoom年間契約費 ※管理費として計上

会場費、講師謝金はかかっていない）

■学校のデジタル活用に関するコミュニケーションツールの開発

昨年度のワークショップを踏まえてコミュニケーションツールを検討する。（類似の取り組みやツールが増えたため、それらの既存の取り組みの把握と課題の整理を中心とする）

【目標】・既存ツールの検証も含めたコミュニケーションツールの検討

【実施状況】実施しなかった

【事業費】0円

②教育と広報・コミュニケーションに係る相談・助言事業

■学校や社会教育機関の広報・コミュニケーションに係る個別相談への対応

スケジュール固定のオンライン定期相談会（1回 500円／会員は年度内1回まで無料）を実施する。また、学校等からの問い合わせに応じて相談業務を行う。

【目標】・相談業務 3回以上実施

【実施状況】

・積極的な営業・広報活動をしているわけではなく、計画したような個別相談の形態では実施できなかった。

・別の形態として、「教育広報講座」を開催し、のべ11名の参加があった。一定程度ニーズがあり、効果も大きいため、継続的に実施したい。

8/20 教育広報講座（3コース）@コワーキングスペース水戸ワグテイル

【事業費】

〈収入〉 9,500円（講座参加費 1コースに付 会員500円、非会員1,000円）

〈支出〉 9,600円（会場費、駐車代）

③教育と広報・コミュニケーションに係る研究事業

■教育と広報・コミュニケーションに関する勉強会の実施

教育と広報・コミュニケーションについて、年間テーマを設けて勉強会を行う。

今年度のテーマは「カリキュラムとことば」を想定。

【目標】・年度内に1回（2023年1月頃を想定）以上実施

【実施状況】実施しなかった

【事業費】0円

④上記事項に関する情報提供事業

■ホームページ等を用いた発信

【目標】・ホームページの維持、コンテンツの増設

【実施状況】・イベントレポートなどを掲載している

【事業費】8,114円（ドメイン費、サーバー費 ※管理費として計上）

■電子ブックコンテンツの制作

本法人の活動の成果、講演記録などを電子ブックとしてまとめ、ホームページで提供する。

【目標】・年度内に1冊以上制作

【実施状況】・実施しなかった

【事業費】0円

■ジャーナル活動〈計画外〉

ジァース教育新社発行の専門誌『文部科学教育通信』で、代表の山崎による連載「国

立大学の広報・コミュニケーションの現場から」を開始（11月～月2会）
プロフィールで本法人にも触れており、本連載をきっかけとした入会もあった。